

議事録

次の会議を開催した。

会議名	令和7年度第3回藤沢市2040年問題及び長期ビジョン検討委員会
開催日	2026年(令和8年)1月29日(木) 16:10~17:05
場 所	本庁舎6階 庁議室
出席者	行政総務課長、企画政策課長、秘書課長、職員課長(途中退席)、財政課長(代理出席)、防災政策課長、市民自治推進課長、生涯学習総務課長、福祉総務課長(代理出席)、地域医療推進課長、子ども総務課長、環境総務課長、産業労働課長、建設総務課長、都市整備課長、道路下水道総務課長、病院総務課長、消防総務課長、教育総務課長
議 事	(1) 前回会議の開催結果について (2) 未来予測データ集について (3) 次年度の研修概要について (4) その他
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 前回会議の開催結果について</p> <p>≪内容≫ 事務局から資料1を確認するよう案内し、詳細説明については省略。</p> <p>≪主な意見等≫ なし。</p> <p>(2) 未来予測データ集について</p> <p>≪内容≫ 事務局から資料2及び資料3に沿って説明。 今後検討をするにあたり根底にある問いの確認と検討の視点の視点の確認、「藤沢市の未来予測」データ集の回答に係る意見交換を行った。</p> <p>≪主な意見等≫ ○参考までに市民センターや市民の家については年度の結果を入れているが、今年度公共施設予約システムをいれたので、さらに深堀をしてデータをみている。どのように出していくのか検討をしているが、コマごとや午前・午後・夜間の分類ごとになども研究していることをご報告する。例えば、市民センター貸室の利用件数や市民の家の利用実績など、もう少し細かくみていく必要があると思っており、検討を進めているところである。 ○事務局で全体の数字をみて、項目ごとの相関性で、この項目が上が</p>

<p>内 容</p>	<p>れば他の項目が下がってないといけないなどの矛盾する指標はなかったのか。</p> <p>⇒全く整合がつかないものは見たところない。具体的な整合については、事務局でそこまで行うのか等あるが、出していくにあたっては矛盾が生じないようにと思っている。ただし、すごく減る・少し減るなどの乖離はあると思うので、今後まとめていくときに整理をしていく。</p> <p>○公共施設面積の資料について、ほとんどの施設が 2050 年まで面積が変わらない想定だが、子どもの教育施設などは子どもの人口減の影響があると思うが、相関などは考慮していないのか。</p> <p>⇒公共施設の予測の考え方は公共施設再整備第 4 次プランに基づいているため、将来的な子どもの人口減まで見据えて算出することが難しかった。</p> <p>○例えば、教育関係の面積のデータの根拠資料として、別添資料を出しているのか。</p> <p>⇒根拠資料としてはではなく、資料 3 に別添参照と記載し、別のファイルで出している。研修などでの見せ方は整理をしたい。</p> <p>⇒公共施設の総面積を縮小していくべきというプランを作っているが、将来的な人口減少のトレンドと未来予測データ集の考え方が合わないという指摘である。しかしながら、公共施設の複合化を掲げているが、今現在出来ていない課題もある。そのため目標的な数字を掲げていくか、現実論を掲げていくかなどブラッシュアップをしていく必要がある。人口についても一定整理が必要だと考えている。</p> <p>○市営住宅は減らしていくと議会報告があったのでは。</p> <p>⇒公共施設再整備担当の資料を基に作成しており、現計画や施策、マスタープランなどとの整合性は図られていない。部局の考えのもと数字を出している。</p> <p>○商業統計など基本的統計は入ってくるのか。商業の床面積など、今後どうなっていくのか等、今の基本のベースが横並びであると分かりやすいのではないかと。減らしていく方向性ではあるが、数字で見えるようにしたほうがいいのでは。人口減で、学校が減るなど備考欄で見えてくる。単純に減るだけではないと思う。もう少しこの表をうまく使えるといいのでは。</p> <p>⇒この未来予測データ集は基本目標に紐づけながら作成している。市全体でみると都市計画基礎調査で商業施設の面積など、出せるなら出していきたいと事務局で思っていたが、膨大なデータなのでどこまで出すのが難しい。研修で検討する時にそういったデータもあると紹介していくことはよいと考えている。</p>
------------	---

<p>内容</p>	<p>○総務部が出した地方公務員の定数について、算出にあたっては人口ではなく、あえて生産年齢人口の推移をもとに出している。定数は全体の人口に比例していくものではあるが、採用難もあるため、限られた人数で行政サービスを提供していくメッセージでもある。人手不足で、採用が出来ないため、他の方法を考える必要があると、ぜひ数字をみる人に意識してもらいたいと考えている</p> <p>⇒人手不足は今後の検討の中でも大きな題材であり、公共サービスの提供に職員は必要であるため、議論する必要があると事務局として考えている。総務課の検討状況についても考えながら、研修を進めたい。</p> <p>○他の部局も何らかの意図をもって数字を出しているのので、確認したほうがよいのではないかと。</p> <p>⇒算出根拠もそのためにあり、加味をしながら検討をしていく必要があると思う。今出た意見も含めて相談していきたい。</p> <p>(3) 次年度の研修について</p> <p>〈内容〉</p> <p>事務局から資料2に沿って説明。</p> <p>次年度実施する研修について、研修概要や講師について説明をし、意見交換を行った。</p> <p>〈主な意見等〉</p> <p>○研修参加者数について、25名程度だと各部局から2名程度だと思われる。選出方法について、部局間でならしをしていただきたい。</p> <p>⇒配慮していきたい。</p> <p>○委員会と研修の役割イメージ、今後のスケジュール感が見えなかった。</p> <p>⇒まだアイデアベースだが、研修では報告書をまとめるのではなく、様々な世代の意見を事務局で記録をし、アイデアとして委員会に報告する形を考えているので、報告会などは想定していない。意見そのものをある程度事務局で整理して出すことをイメージし、最終的には委員会で方向性を出し、次の指針改定までにまとめていくことを目標としている。</p> <p>⇒この委員会としては、最終的には簡易的なペーパーにまとめて次期指針の改定につなげることをゴールとしている。研修の場を使って議論をするという位置づけでもある。連携してこの委員会でも議論をする。</p> <p>○研修の考え方について、階層別研修では課題感を浸透させる研修があるため、この研修では深掘をする位置づけである。アイデアを吸い上げると同時に研修生にも目的があって参加してほしいとい</p>
-----------	---

<p>内容</p>	<p>うことを伝える必要がある。</p> <p>階層別研修や政策形成研修に見えなくもないが、実施背景についてしっかりと研修生に示すことが重要だと考え、オリエンテーションを含め、しっかりと示す研修にしたい。</p> <p>職員課としては関係性の希薄化があり、縦割り研修を実施していきたいと思っていたため、関係性の構築も合わせて狙っている。そのためにも委員会も絡んでいることを意識する研修に仕立てていきたい。</p> <p>○2040年問題に係る研修なので、15年後も市役所にいる、意欲のある人に参加してもらいたい。</p> <p>課題解決を考える際には、情報収集から始め、ある程度集めたら情報収集をいったん止めて、課題を見極め、仮説をたてる段階に入るべきだと思う。今回集めたデータは研修にも生かせるものだが、情報収集は際限がないため、区切りをつけたほうがいいと思う。</p> <p>2025年問題の際は、明確に団塊世代の高齢化、要介護が増えることがあったので地域包括を推進したが、2040年における課題は人口減少や人手不足、それ以上のテクノロジーの変化など。研修生には、2040年の課題を深く議論し、いろいろな仮説を考えてくれることを期待したい。その結果を委員会のメンバーでみることができるなら、楽しみである。</p> <p>⇒データ収集については留意していきたい。研修生にはこの取組を楽しんでもらいたい意向もあり、藤沢市をリードしていくマインドも醸成できればと考えている。</p> <p>(3) その他について</p> <p>《内容》</p> <p>○この委員会で次年度以降どうなっていくのか。人口減少を止めるにはどうしていくのかなどスポットを当てていくのか。具体的な最終ゴールがあれば教えてほしい。</p> <p>⇒令和8年度のゴールとしては、研修で議論の種、課題が見つかることと考えている。また、人口減少を議題とする場がないので、研修で地域人口政策を専門とする大学教授から移動移住や関係人口などの人口政策の話をすることによって、議論につなげていきたい。</p> <p>⇒研修以外の委員会の来年度の動きについては、研修、委員会、研修、委員会のように、研修で出てきた意見を、ギャップを出すタイミングと方針を出すタイミングで3～4回委員会を開催していきたい。</p> <p>○部内会議の際に説明しづらく、具体的なゴールがあればそこから</p>
-----------	--

内容	<p>課内会議で議論ができる。与えられないと議論がしづらい。各部署を巻き込む仕掛けなどは次年度どうなるのか。</p> <p>⇒部内会議などでどう示していくのかに関して言えば、根底にある問いを考えていくことを有識者の意見も交えながら議論を始めていくことを伝えてほしい。研修に委員会メンバーも参加してもいいのではないか。</p> <p>○委員会メンバーがいると遠慮して議論が進まない可能性がある。そのため、2040年に在籍しているだろう職員のみの方がよいと思う。情報連携の仕方などはある。</p> <p>⇒委員会メンバーと研修の関わり方をコントロールしていきたい。</p> <p>(4) その他 特になし</p> <p>3 閉会 事務局から次回の開催予定について連絡し終了。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
----	---